

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2019年度

公表：2020年4月1日

事業所名：放課後等デイサービスすばる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			宿題等を行うスペースが足りない時もある。子どもの状況に応じてパーテーションを利用したり配置換えするなど工夫をして、子ども達が過ごしやすいように配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		学習の見守りをする時に足りないと感じる時がある／制度上、適切な人員を配置している。／時間をずらすなど工夫して見守りをする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現在利用者はいないが、車イスではトイレが不便
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の業務日誌で実施している他、全職員が出席してミーティングを行うなど、連携を取って業務について話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			必要に応じてアンケートを実施するなど、保護者の意見を聞けるよう常に心掛けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子ども達のやりたい事や子ども達に経験させてあげたい事の全てはできないが、できるだけ提供できるよう工夫して計画していると思う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			事前に計画し、固定化されないよう工夫している。子どもの成長に合わせて今後も活動プログラムを幅広く企画していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日・長期休暇時は、事前に企画して資料館などの見学や公園での課外活動を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			打ち合わせに参加できない場合は連絡ノート等を用いて必ず情報共有ができるよう工夫している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			業務終了後には終礼を行ない、その日のうちに振り替わりを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		訪問看護事業所と連携して子ども達の体調管理を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者の方や相談員から情報提供を受けている。必要に応じて関係機関と連携して情報共有と相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		w a v e の訪問事業は学ぶことが多いです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同法人内での交流はあるが外部との交流は少ないため、地域イベントへの参加など交流の場を増やしていく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳を用いて子ども達の様子を伝えあい、保護者の方とのコミュニケーションを図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者の悩みや要望をお聞きし、保護者の気持ちに寄り添った支援ができるようスタッフ同心掛けている。
観者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		支援の内容については、様々な機会丁寧で説明していると思う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今後保護者参加のイベントを開催し、保護者同士の連携を支援していきます。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回の「すばる通信」の発行やHPにて情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		月1回のお話し会やイベント時には地域のボランティアの方にマジックや南京玉すだれを披露していただき、子ども達と一緒に楽しんでいる。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回子ども達の様子に合わせて、火災・地震・津波等の災害発生に備えた避難訓練を行っている。また、消防署で「救命救急講習」を行った。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		内部研修、外部研修へ参加を積極的に行っている。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		今現在は身体拘束の必要はないが、今後必要になった時にどう対応するのか事前に検討しておく必要があると思う（マニュアル策定、職員・保護者への周知等）	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者の方と相談し、対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			